

# 別府鉄道 探訪

戦後の別府鉄道は、それまでの暗い出来事を払拭するような破竹の勢いに乗ってその乗客数を増やしていきます。今回はその様子についてお話しします。



▲昭和21年ごろの沿線案内図です

現在の姿からは想像もつきませんが、戦争直後の別府港付近には工業施設はなく、代わりに潮干狩りや海水浴などが楽しめる砂浜が広がっていました。その他にも、加古川周辺には国宝である鶴林寺や尾上神社など、歴史的な建造物も見学できる施設があったので、別府鉄道はこの点に着目し広く宣伝することにしたのです。「別府鉄道沿線には身近な場所です。手軽に遊ぶことができる場所や、散策しながら歴史を学ぶことのできる場所が数多くある」ということを、より多くの方々に知らせるため、沿線の観光スポットを紹介するパンフレットを作成しました。その成果もあって、海水浴シーズンには全車両をフル稼働して臨時列車を出さなければならぬほどの大盛況ぶりです。着実に乗客数を増やし、昭和41年には最多の30万人を記録しました。このように、別府鉄道は戦後の景気回復にも一役買っていたのです。

## 鉄道まめ知識

### 【古代駅②】

古代駅実現とならなかつた背景には、もう一つの理由があります。大中遺跡から土山駅に向けては緩やかな上り坂になっています。別府港から多くの貨車を引いてこの坂道を上る場合、傾斜の途中に駅をつくって列車を止めてしまつと、牽引力の弱い機関車では再出発できなくなる可能性があったためです。

\*このコーナーでは皆さまからの「別府鉄道の思い出」を募集しています。(郷土資料館)

広報よりま | 発行/播磨町役場 〒675-0182 (個別番号) 兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号 TEL 0794 (35) 0355 FAX 0794 (35) 0609 編集/企画調整課 印刷/明光印刷

## 広げよう 花と緑の輪

播磨町花と緑の協会



◀コミュニティ花壇



▶ひまわりの会の皆さん

花といっしょに暮らす素敵な毎日②  
ひまわりの会 (代表者 佐伯博隆さん) にお話を伺いました。

ひまわりの会はいつ結成されましたか?

昨年10月に、野添であい公園のコミュニティ花壇(約20平方メートル)での活動を始めるにあたって、ご近所で花が好きな方に私が声をかけてグループを作りました。現在7人のメンバーが参加し、和気あいあいと草花や花壇作りに取り組んでいます。

なぜコミュニティ花壇活動を始めたのでしょうか?

草花の勉強になるし、花が好きな方々のコミュニケーションの場になればと思います。

花壇の花のほとんどは種から育てられたそうですね

3月に年間計画をおおまかに立て、育てる花の品種をグループの方々の意見も取り入れながら決めていました。種は各種メーカーから購入、トレーにまいて、グループ員の自宅でも発芽させてもらっています。温室やハウスがないため、発芽に適切な温度管理が難しい。今のところ発芽率は50%を下回っています。また、花壇に合わせて、できるだけ草丈の低い品種を選んでいます。

今後の予定は?

8月からは、パンジーなど秋まきの花づくりを楽しみます。

問い合わせ 都市計画課 0794 (35) 26666

町の人口 7月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)

34,272人(+5人)	男...16,754人(+1人)	世帯数...12,787(+10)
	女...17,518人(+4人)	

